

家庭学習を効率的にすすめていく！ために、
～ちょっとしたコツ、使える教材サイトのご紹介～

<国語編>

国語の各学年、各単元のワークシートがこれらのウェブサイトからダウンロードする事ができます。すべての単元が網羅されているわけではありませんが、特に子供達が難しいと思う単元があれば家庭でこれらのワークシートも参考にすると良いと思います。

[チャレンジシート小学校版](#)
[言語力向上のためのワークシート集](#)
[日本語（国語）プリント](#)

このページにはいろいろな音読のやり方が載っています。何度もやると飽きてしまう音読を楽しく継続するための参考にしてください。

[いろいろな音読の指導方法 | 国語の学習指導案・授業案・教材](#)

各学年の漢字練習、ドリルはこれらのサイトからダウンロードできます。

[漢字ドリル | 無料学習プリント【すきるまドリル】](#)
[ジャッカ\[JAKKA\] | 無料PDF漢字ドリル](#)

漢字学習で意外と困るのが書き順。親世代が習ったのとは書き順が違う漢字もあるのです。こんなサイトで書き順を確かめる事ができます。（このサイトの慣用句漫画もお勧めです）

[慣用句一覧 | 漫画で慣用句の意味・使い方・例文【かくなび】](#)

学年ごとに習う漢字を分けてあるサイトは多いのですが、使っている教科書の単元に出てくる順番で覚えたい場合は、必要な漢字だけを選べると便利ですね。学習プリント.comでは学年ごとの一覧表から練習したい漢字を選んで印刷でき、問題に出てくる語彙は学年相応になっています。

[学習プリント.com](#)

怪盗ねこぴーのページでは、当該学年で習った漢字だけを使ったテストが日替わりで出題されます。漢字の復習にお勧めです。

[怪盗ねこぴーの学習コンテンツ](#)

そして、保護者の方に宿題です。まずはお子さんの教科書の上巻、（下巻が届けば下巻も）全ての文章に目を通しましょう。読みながら「うちの子、この言葉は知ってるかしら？」と思う言葉があったら書き出しておいて、毎日の生活の中でさりげなくチェックしてみましょ。思わぬところで「え！この言葉知らないの？」と思う時があります。例えば1年生では「おむすび」なら分かるけど「おにぎり」はわからないとか、「ざる」は使ったことがない、とか「ばった」を見たことがない

とか。さりげなく、「そこのぎる取って～」とお願いしたり、ばったが居そうな草むらに探検に連れて行ったり、「勉強させられている」とばれないように（笑）色々な言葉を使う機会を提供してあげましょう。

学年が上がるにつれ、日常生活で使わない言葉、日本に住んだ事がない子には馴染みのない言葉が教科書内にどんどん増えてきます。え！この言葉も知らないの？と思った時に「なんでわかんないの！」と言いたくなる気持ちが湧くのは当然ですが、その言葉はぐっと封印して「○才からアメリカに住んでたら分からなくて・忘れちゃっても仕方ないよね」という気持ちで子供に寄り添って勉強を手助けしてあげましょう。

では各学年の始めの方の家庭学習で気を付けた方が良い点についてご紹介していきます！

1年生の国語：毎日音読する事が一番大事！

低学年の間は特に「聞いた事がある言葉話して、それから読んで、それから書く」というのが一番学習効果があります。なので、1年生の音読は「まずは保護者が読んであげて、復唱させて、それから一人で読んでもらう」というのが一番手取り早い（勿論、初見ですらすら読める子には最初から自分で読ませて良いですが、そういう子には「もっと困った感じに聞こえるように読んでみて？もっと嬉しそうに読んでみて？」など、課題を与えてあげましょう。また、一見すらすらと読めているようでも文章を正確に読んでいない場合もあります。「～になります」と「～になるのです」という文末表現の違いなど。普段の読書ではそこまで気をつける必要はありませんが、教科書の音読をする時には「一字一句正確に読む」事に注意を払うのが大切です。一人ですらすらと正確に読めるようになるまでは、「毎日」同じ内容を音読させる事が上達のポイントです。単元が終わるころには暗唱できるようになっているぐらいが目標です。

子供が自信を持ってひらがなを読めるようになったら書きに挑戦です。まずは「し」や「へ」など、画数の少ない書きやすい物から取り掛かりましょう。（全く字が書けない子に「あいうえお」と書かせる事から始めてしまうと「あ」と「お」という最も難易度が高い物から始める事になってしまい、「書くの嫌い」につながりがちです）

ウェブサイトから、ひらがなの練習プリントがダウンロードできます。

[もじ「ひらがな」 3・4・5歳 無料ダウンロード | おうちレッスン 大特集](#)

ひらがな練習プリント

低学年のうち、なるべく四角いマスの中に書く練習をさせる方が効果的です。国語のノートが手元にない方はこれらのウェブサイトからダウンロードできます。

[日記帳の用紙（マス） 無料ダウンロード・印刷](#)

[漢字練習用紙（小学生向き漢字ノート風） 無料印刷 | B5サイズをフリーでダウンロード | 家勉強キッズ](#)

50音を一通り書けるようになったら、次は一文字づつ練習させるよりも「大きなあな」など意味のある言葉を保護者が読み上げて書き取りさせる「聞き取りテスト」方式がお勧めです。短い言葉がすらすら書けるようになったら「大きな穴を掘る」「庭に大きな穴を掘る」「庭に大きな穴を掘って宝物を埋める」「お父さんと一緒に庭に大きな穴を掘って宝物を埋める」というよう

に、聞き取って書く文章の難易度をどんどん上げていきましょう。すらすらできる子はそのまま自分でお話しを考えて書いてもらっても良いですね。学年が上の子供と一緒に「上の子は漢字を使って書いてね、下の子は全部ひらがなで書いてね」と複式学級方式での書き取りテストもできます。

夏休みが終わるとカタカナと漢字が一気に導入されますので、遅くとも6月までに全部のひらがなを自信をもって書けるように準備しておきましょう！カタカナの導入は夏休み後ですが、それ以前に読めるようになっている方が絶対良いです。ショッピングリストを作って「お買い物ごっこ」をして遊ぶと楽しくカタカナ学習ができます。「チーズ」「ケチャップ」「パイナップル」とメモに書いて渡し、おもちゃの商品を買い物かごに入れてきてもらう。家にあるぬいぐるみに名前をつけてカタカナで名札を書いてつけるとか、現地校のクラスメートの名前をカタカナでカードに書いてクラス写真に貼り付ける、などもお勧めのカタカナ学習法です。

ところで、1年生の教科書には「かぎのたば」とか「きしべ」という言葉が出てきます。「たば」というのは他の言葉にくっついて、「たくさん集めてひとつにまとめたもの」っていう意味になるんだよ、「花束」とか「札束」とか。「べ」というのも他の言葉にくっついて「その近く」という意味になるんだよ、「川辺、海辺、浜辺」とか。他にも「きつつき」は「木をつつく」鳥だからとキツツキっていうんだよ、というように、言葉の成り立ちについて教えてあげると子供の語彙がぐっと増えます。一度教えたからといって子供がすぐに使いこなせるようになるわけではありませんが、そういう説明を聞いたことがあるのとないのでは後々大きな差が出てくるのです。

一つの単元がすらすらと読めるようになったら、どんどん先に進んで読ませても大丈夫です。教科書の音読だけでは物足りない、という人はウェブで見つけられる音読教材

[150613 よみま將軍2015.PDF](#)

音読教材

を活用するのもお勧めです。好きな本を音読させるのもOK。1年生のうちは「絶対に毎日音読をする」という習慣をつける事が最も大切です。

2年生の国語：毎日音読、既習漢字の音訓も忘れず復習！なるべく漢字をたくさん使った文章を毎日書く練習もしましょう。

次に2年生の教科書について。まずは一年生で習った漢字の音読み、訓読みをしっかりと覚えているか確認しましょう。教科書の「上」は「うえ」とは読まないんだよね、なんて読むんだった？

「上手」の「じょう」って読むんだったね、「先生は、なん月生まれ？」という文章の中で「生」は「せい」と「う（まれる）」の二通りの読み方するよね、などと確認しながら読み進めましょう。「ふきのとう」は、子供にふきのとうの役をしてもらい、保護者が雪になったり竹になったり春風になったりして音読劇をするととても楽しい単元です。新出漢字にいきなり「読む」とか「雪」「書」という画数の多いものがでてくるので書き取り練習をしながら子供がうんざりしがちですが、「雪」の中にはどんな漢字が入ってるかな？「読む」の中に知ってる漢字見つけられるかな？と「もう知っている部分」を強調してあげるとハードルが低くなります。

2年生の漢字練習プリントはここからダウンロードできます。

[小学2年生の漢字練習・テスト プリント](#)

次の説明文「たんぼぼのちえ」を保護者が先に読んでおいて、道端のたんぼぼを観察しながら「このたんぼぼ、黒っぽくなって茎が倒れちゃってるね、枯れちゃったのかな？」などという会話をしておくとその単位にとっかかりやすくなります。「枯れる」と「枯れてしまう」はどう意味が違うのかな？などという事も話しておきましょう。辞書的な説明をする必要はなくて、「「学校に遅れる」って言うのと「学校に遅れてしまう」っていうのと、どっちの方が「大変！困ったこと！」っていう感じがする？」というような会話をするだけでも十分です。このようなワークシートを活用すると内容の理解が深まります。

[チャレンジシート「たんぼぼのちえ」](#)

2年生から上の学年の国語の教科書の巻末には「ことばのたからばこ」というページがあります。各学年で「この年齢でこんな言葉を使いこなせると素晴らしい」という目安になります。一日一つ言葉を選んでその言葉を使った文を考えてみたり、付箋に書き出した言葉を組み合わせて面白い文章を作るゲームをしたりして楽しくいろんな言葉に触れる機会を作ってあげましょう。

3年生の国語：まだまだ毎日音読、辞書の使い方にも慣れるようにしましょう！

3年生の教科書の最初に「じこしょうかい」という単元があります。

Eテレのウェブサイト内の「お伝と伝次郎」に、自己紹介の面白いエピソードがあるので見せてから「新しいクラスみんなに、どんなふうに自己紹介する？」と一緒に考えてあげましょう。

[お伝と伝じろう【国語 小3～6】 | NHK for School](#)

詩は漢字が出てこないのほっと一息つける単元ですが、「引力」のような学習言語がさらっと投入されています。2年生までは「生活言語」が中心だった教科書のボキャブラリーに、だんだんと日常生活では使わない言葉が加わってくるのです（これが俗にいう「9歳の壁」です。これまでは聞けばなんとなく意味がわかる言葉しか出てこなかったのが、聞いてもさっぱり意味が想像できない言葉が出てきてつまづきの原因になります）。学習言語が少しずつしか出てこない3年生のうちに、「いんりょく」ってなんだろう、と思ったら辞書で調べたり保護者に聞いたりして、「わからないまま放置しない」「教科書に出てくる言葉は全て理解できるようにする」という習慣をつける事が大切です。

辞書の使い方を教える時は、まず「あなたが辞書になったつもりで、「赤い」の意味を書いてみて」と書かせた物を実際に辞書に載っている内容と比べてみたり、「ちよがみ」と「チョッキ」はどっちが先に載ってると思う？「チーズ」と「地図」はどっちが先だと思う？というようにクイズ形式で辞書の引き方を教えてあげると子供も楽しんでくれます。

最初の物語文「きつつきの商売」の「商売」も子供にはあまり馴染みのない言葉です。「商売上手」「商売人」「旅商人」とか「あきない」「あきんど」などという表現もついでに教えてあげましょう。他の動物が商売を始めるとしたら、どんなお店を開くと思う？などと一緒に考えて、お話を膨らませてあげましょう。「しょうちしました」などの「大人言葉」も導入されたら

「お母さん、これ手伝って」「承知しました」というように毎日の会話に取り入れて親子で楽しみましょう。「目を向ける」「雨の音につつまれる」など、普段の会話に出てこないような表現は、教科書で読んだだけでは身に着きません。日記を書く時に使ってみようか、とか、「この表現は素敵だから紙に書いて冷蔵庫に貼っておこうか」など、意識して思い出す機会を作り出してあげてください。この単元の理解度を確かめるためのワークシートはこちらからダウンロードできます。

[言語力向上のためのワークシート集](#)

日記を書く宿題をする時には、教科書の「言葉の宝箱」のページを開いておく事をおすすめします。例えば日記を書いている「ぼくは怒りました」と書いたら「怒る」って他にどんな言い方するかな？「かっとなりました」「頭にきました」「はらが立ちました」なんていう言い方もあるよ、と教えてあげましょう。（一旦紙に書いた物を消して書き直さない、と言われるのは誰でも嫌なものですから、「書く前になんて書くんもか言ってみて？」とお願いし「怒りました」と書くと書いたら「他にどんな言い方があったっけ？」というように声掛けしてみてください。日記の締めくくりがいつも「楽しかったです」で終わらないように助言してあげましょう）

4年生の国語：やっぱり毎日音読が必須、漢字辞典の使い方も入ってきます。

3年生の時と同じく、前までの学年で習った漢字の音読み、訓読みをどちらも覚えているか確認しながら読み始めましょう。「湖」の音読みは「古」の音読みと同じだよ、「みずうみ」は水に係する言葉だからさんずいへんがついてるんだっけね、などなど、3年生の教科書に出てきた内容を覚えているかチェックしながら、新しい単元に入っていきます。「学びを深める」「生活にいかす」「共通点をみつける」などさらに高度な学習用語がどんどん入ってきます。辞書の使い方をふりかえりながら「教科書に出てくる言葉は全てわかる」状態を維持していきましょう。

最初の物語「白いぼうし」は、かぎかっこ内の言葉は誰が言った言葉なのか、というところに注意して読み進めましょう。「おじさんの話し方」「小さい男の子の話し方」「女の子の話し方」を工夫して音読劇をしても良いですね。どうして松井さんは帽子の下に夏みかんをおいたのかな？とか、どうして女の子は急に居なくなっちゃったんだろう？と尋ねて子供が自分の言葉で説明できるかどうかチェックしてあげてください。

4年生の学習で難しいポイントの一つは「漢字辞典の使い方」です。3年生から使い始めた国語辞典は、熟語や漢字の読み方がわからないと使えません。では漢字の画数や、部首から読み方、意味を調べるにはどうしたら良いか。画数を数える時に、1画で書くのに2画で書く（例えば「日」の2画目など）と勘違いしていたりすると探している漢字が見つからなくてイライラする原因になりますので、慣れるまでは一緒に画数を数えてあげましょう。難しい漢字を3個書き出して、「3分で全部読み方と意味調べられるかな？」とゲーム形式にしたり、漢字ビンゴ（やりかたはこのウェブサイトにあります：[漢字ビンゴ「漢字を覚えるって楽しい」そういう感覚を持って欲しい時の実践（柴田克美先生）](#)）をしたり、漢字を覚えるのが楽しくなるように工夫してあげましょう。4年生の始めの時点で子供達はすでに440字の漢字を習ってきています。既習漢字を分析して、部首や音読みが共通する漢字に注目する習慣をつけておくと、新出漢字は実はこれまでに

習った漢字のいろいろな部分を組み合わせたものであるという事に気付き、漢字を覚えるのに役立ちます。

4年生の漢字練習、ドリルはこのページからダウンロードできます。

[小学4年生の漢字練習・テスト プリント 無料ダウンロード・印刷 | ちびむすドリル【小学生】](#)
[小学4年生 漢字テスト \(新学習指導要領対応\)](#)

漢字に苦手意識が出てきたら、漢字検定の練習問題を解いてみると何年生の漢字から復習すれば良いのかが分かり効率的です。漢検のサイトでも無料家庭学習教材が提供されています。

[家庭学習用教材を無償で提供します | お知らせ](#)

5年生の国語：読む量が増えて、毎日一単元全てを音読するのは難しくなってきますが、少しずつでも毎日音読させましょう。

いきなりはじめの方から「栄養素」「活動を整理」「一段階詳しく」などの学習言語がたくさん出てきます。日頃からこのようなサイトで日本語のニュースを聞いておくと、難しい言葉にも馴染みやすくなります。[NEWS WEB EASY | やさしい日本語ニュース](#)

5年生ともなると教科書の内容は大人にとっても読み応えのある内容になってきます。特に今回の改訂で新しく入った「言葉の意味がわかること」はバイリンガル児を育てている保護者には大変興味深い題材です。「古典の世界」を読んで自分の学生時代を思い出す人も居るでしょう。古典の題材は、YouTubeで朗読を探すとたくさん出てきます。独特の抑揚のつけ方などを聞くと、なぜこれらの文章が長い時間受け継がれてきたのかがわかると思います。古典については、大人も子供と一緒に学びなおすつもりで家庭学習をサポートしていきましょう。

ところで、各学年の教科書を比較すると見えてくるパターンというのがあります。新学年になるとまずは「学習のコツ」「初対面の人と話すときのコツ」についてのページがあり、まずは詩を読んでから物語文、その次は図書館について、そして漢字の分析、次に季節の言葉、次に人と話すときのコツ、という同じパターンが二年生の教科書から繰り返されている事がわかります。当該学年の単元があまりにも難しいようだったら、一つ下の学年の似た単元に戻って「去年はこんな事習ったんだっけ」と思い出させてあげると現学年の題材にもとっかかりやすくなります。苦手意識が出てきたら、無理なく理解できるところまで戻って復習し、自信を回復させる事が遠回りに見えて実は近道なのです。

6年生の国語：音読は、一度読んで漢字間違い、言葉の区切り間違いなどがなければ確認できたら大丈夫。うまく読めないところがあったら読めるようになるまで毎日練習させましょう。全体的に問題なく読めて、語句の意味を確認できたらニュースなど教科書以外の文章を読むことに時間を割きましょう。

小学校最高学年の国語の巻頭の「ものの考え方、伝え方」は大人でも使えるプレゼンスキルス。最初の詩もこれまでの学年よりも解釈の幅の大きいものになっています。子供が「分からない」と言ってもあまりここにこだわる必要はありません。

6年生に限った事ではありませんが、社会とつながれる国語力を身につけるためには教科書以外の文章にも日常的に触れる必要があります。以下のようなウェブサイトでニュースを読んで、気になる記事の内容についてネットで調べてみたりするのもお勧めです。子供新聞デジタル版は普段は有料ですが、期間限定で無料で読める記事もたくさんあるようです。ただ読んで終わり、ではなく、同じ出来事について英語のニュースではどう報道されているのか比べたりできるとなお良いですね。

[KODOMO新聞](#)

[おうち時間応援！朝日小学生新聞・朝日中高生新聞コンテンツ](#)

[毎日小学生新聞](#)

最初の物語文「帰り道」はまずは先入観なしに読ませてみてください。二つの物語が、全く同じ出来事を二人の登場人物のそれぞれの視点から描いたものと自分から気づくのを待って、それから「この出来事に対して、律は「周也はこう思っている」と思い込み、周也は「律はこう感じているんだろう」と思い込み、互いの思いがどうすれ違っているかを書き出すと深い読解につながります。二人が「小学四年生の頃」どう思っていたのか、「今日の昼の出来事」をどう思っているか、二人の間のわだかまりが消えるきっかけとなったのはどんな出来事だったか、これから二人の関係はどうなっていくのか、子供と話し合ってみてください。保護者の方が「小学生の頃、友人関係でこんな事で悩んだ事があった」などという思い出話をするいいきっかけにもなりますね。

6年生の初めまでに、子供達はなんと835文字もの漢字を履修してきています。各学年の国語の教科書の「漢字の広場」を振り返ると効率よく漢字の復習ができます。小学校の総まとめとして漢字検定6級か5級の練習問題に取り組むのもお勧めです。

また、四字熟語をまとめて復習するにはこんな動画がお勧めです。（3年生の漢字、4年生の漢字、5年生の漢字など色々なバージョンがあります）

[【四字熟語】5年の漢字で書ける四字熟語 50こ連続バージョン](#)

中学生の国語：字が小さい！大人にも難しい！漢字テストなど、大人も一緒に挑戦してみるべし

中学生の国語には、日本で育っていないとなかなか馴染みのない内容がたくさん出てきます。「おばあちゃんといえば梅干し」とか「野外学習のお菓子」とか「大根おろし」とか「六畳間」とか。ちびまる子ちゃんやサザエさん、ドラえもんを見せる事である程度わかってもらえる所もありますが、やっぱり自分で経験した事はよく覚えていてくれるものです。大根おろしを実際に作って食べさせてみたり、六畳間に近い広さの部屋をこちらの家で探してみたり、「体感」させてあげられる事がないか、探してみてください。

思春期、反抗期でなかなか音読など聞かせてもらえなくなったりする年齢ですが、一単元に一度は漢字を間違えて読んでいないか、言葉の区切りを間違えていないか、イントネーションが正しいかどうか、音読を聞いてチェックしてあげましょう。漢字が出てくる度につかえて読めない、という状態になっていたら小学漢字の徹底的なおさらいが必要です。

慣用句、故事成語、四字熟語などをどれだけ知っているかも読解力に深くかかわってきます。こんなサイトを活用して楽しく覚えられるように手助けしてあげましょう。

[慣用句一覧 | 漫画で慣用句の意味・使い方・例文【かくなび】](#)

中学国語のワークシートはこんなところから見つけれられます。

[チャレンジシート中学校版](#)

中学国語の文法問題はこちらからダウンロードできます。

[中学 国語 文法 練習問題プリント | ちびむすドリル【中学生】](#)

これらのサイトのワークシートで四字熟語、故事成語、ことわざ、敬語などについてまとめて復習できます。

[学力向上ワークシート 国語 \(中学校\)](#)

[中学校国語たしかめ・トライシート \(基礎プリント\)](#)

漢字練習はこちらから。

[中学・高校 漢字プリント | ちびむすドリル【中学生】](#)

<算数・数学編>

小学生の算数は、親からみたら当然ですが簡単です。子供が間違えるのをみると「なんでこんな簡単な事がわからないんだ？」と思うのも当然。でもでも、自分が子供の時もそんなに簡単だと思っていたかな？と思い返してみてください。きっとそんなに全てが簡単ではなかったはず。「自分の子供を教えている」のではなく「他人の子供を教えている」つもりになって教えてあげましょう。子供が間違えた時には「なんで間違えたの」は禁句。「ここはこうだと思ったんだね、でもちょっと違うみたいだよ、どこが違うかももう一度考えてみようか」という言葉かけをしましょう。

各学年のワークシート、練習問題などはこのウェブサイトからダウンロードできます。

[チャレンジシート小学校版](#)

また、このページにはいろんなウェブサイトのリンクがとてもよくまとまって載っています。苦手な単元の練習問題を探すときにご利用ください。

[小学生・算数の学習プリント 無料ダウンロード リンク集](#)

中学生の数学は、大人でも「うーん、ちょっと思い出すのに時間かかるわ」という人も居るかもしれません。そういう時はこんなウェブサイトのチュートリアルビデオなどを子供と一緒に見てみましょう。

[数スタ | 数学をイチから丁寧に！](#)

アメリカの数学教育と日本の数学教育の大きな違いは練習問題の量です。アメリカ式の「一つの問題をいろんな角度から考える」やり方と、日本式の「練習問題を数多くこなして一つの解法を定着させる」やり方を組み合わせれば鬼に金棒です。ウェブサイトからダウンロードできる練習問題を活用してください。

[中学1年生 数学 練習問題プリント 無料ダウンロード・印刷 | ちびむすドリル【中学生】](#)

[数学の練習問題プリント](#)

また、こちらのウェブサイトからも小学、中学の学習支援のための動画が見れたり、教材がダウンロードできます。（2021年5月5日現在まだ公開中ですが、いつまで無料公開されているかは分かりません）

[【Z会】ご自宅で過ごす小学生への学習支援として、お取り組みいただける教材を追加します。](#)

1年生の算数：問題文の読み方に慣れよう！

1年生の算数はそれほど難しくない、と思いついていたらテストではなかなか点が取れない、という事もあります。それは主に「テストの問題の指示が読めなていない、理解できていない」というのが原因です。「あっている方に○をつけなさい」と書いてあるのに計算式の答えを書き込んでしまったり、文章題を読み間違えたり。対処法としては「慣れさせる」のが一番です。文章題の練習問題はこんなウェブサイトからダウンロードできます。

[小学1年生 文章問題（たし算・ひき算） 練習プリント・テスト](#)

[文章問題【1年】 | 算数無料問題・算数プリント](#)

[小学1年生無料プリント](#)

繰り上がりのある計算が始まると、指を使って計算したがる子もいます。最初の頃は無理にやめさせるのは良くないです。が、慣れてきたら徐々に「指使わないで、足される数があといくつで10になるか考える方法でやってみようか」と話しかけていきましょう。

1年生の終わりにはこんな問題が解けるようになっていて、という一つの目安にこんなプリントがあります。

[喜楽研の 算数補助プリント ～ 1年～](#)

[解答例](#)

2年生の算数：九九は学年終わりまでにマスターしよう！

二桁の筆算、時刻と時間、単位の概念、など1年生と比べて難しいポイントは色々ありますが、2年生の算数の難所はなんといっても掛け算です。現地校では九九は5年生ぐらいまで暗記してなくてもオッケー！としている所が多いようですが、十進法語圏でしかも語呂合わせが使える「日本語の九九」は2年生でしっかり暗唱できるようにしないと勿体ないです。「お母さんの顔のしわは何本？」「32本！」「庭の葉っぱは何枚？」「64枚！」などというなぞなぞ遊びをしたりして、子供と一緒に楽しく九九を練習してあげましょう。

2年生の算数プリントはこんなウェブサイトからダウンロードできます。

[算数プリント小学2年生](#)

[小学校2年生算数科](#)

[小学2年生 文章問題（たし算・ひき算・かけ算） 練習プリント・テスト](#)

2年生の終わりごろにはこんな問題が解けるようになっていて、という目安になるプリントです。

[喜楽研の 算数補助プリント ～ 2年～](#)

[解答例](#)

3年生の算数：割り算が苦手な子はまず掛け算を復習しよう！

全ての学年に共通して言える事ですが、3年生の内容は2年生からの積み重ねです。3桁の筆算でつまづいたら2桁の筆算で、割り算でつまづいたら掛け算で、前年度の理解度チェックをしつつ3年生の学習をすすめていきましょう。3年生の計算ドリルなどはこちらからダウンロードできます。

[計算プリント【目次】](#)

[算数ドリル](#)

文章題の練習問題はこちらから。

[小1～小6 算数 文章問題 練習プリント・テスト 無料ダウンロード・印刷 | ちびむすドリル](#)

[【小学生】](#)

3年生の終わりごろにはこんな問題が解けるようになっている目安プリントはこちらです。

[喜楽研の 算数補助プリント ～ 3年～](#)

[解答例](#)

4年生の算数：苦手な単元は、一学年前の内容の復習から！

4年生の算数の主な単元のワークシートはこのウェブサイトからダウンロードできます。

[小学校4年生算数科](#)

3年生までは普段の生活で目にすることができる数が上限だったのが、「想像しかできない数」が導入されるのが4年生です（一万円は日常生活で目にしますが、一億円の現金を実際に目にした事がある人はあまり居ませんね）。大きい数の計算でつまづいたら、桁を小さくして復習しましょう。四則計算の順序、面積の計算など後々の数学の基礎となる単元なのでここで苦手意識を持たないように学習を積み重ねていきましょう。

4年生の終わりごろにはこんな問題が解けるようになっている目安プリントはこちらです。

[喜楽研の 算数補助プリント ～ 4年～](#)

[解答例](#)

5年生の算数：問題文を音読する癖を身に着けよう！

5年生の算数の主な単元のワークシートはこちらからダウンロードできます。

[小学校5年生算数科](#)

少数の掛け算割り算、平均、割合などなど、計算力、国語力共に必要とされる単元が増えてきます。現地校での数学は超得意なのに日本語学校の算数はイマイチ、という場合問題文の読解がネックになっている事がほとんどです。特に単位量あたりの大きさの単元では「一人当たりの、、」とか「一平方メートルあたりの、、」などの部分が読みこなせないとどちらの数をどちらの数で割るのかわからなくなってしまいます。問題文を音読する事で解決する場合も多いです。解けない場合どこでつまづいているのか分析するためにも、問題に取り組んでいる時に横か

らそっと見守って、困った様子だったら「どっちで割るのかな」「答えの単位が何になるから、割られる数の単位はどっちかな？」などと声掛けをしてあげましょう。

このサイトから中学受験準備のための算数見直しがまとめてできるようになっています。

[ジュニア朝日 | かずお式 算数の総復習 \(中学数学への準備講座\)](#)

5年生の終わりごろにはこんな問題が解けるようになっている目安プリントはこちらです。

[喜楽研の 算数補助プリント ~ 5 年~](#)

[解答例](#)

6年生の算数：苦手意識が出ないように、基礎的な計算力が身につく訓練しよう！

6年生の算数の主な単元のワークシートはこちらからダウンロードできます。

[小学校6年生算数科](#)

分数の掛け算割り算、比例、対象図形、円の面積、などなど中学からの数学の基礎となる大切な単元がたくさんあります。計算間違いが多くて正解に辿り着けないとイライラが募るので、計算力が不足していると思われる場合には百マス計算に取り組んでみる事もお勧めです。

こんなアプリで算数をゲーム風に練習する事もできます。

[スマホ用/小学6年生/算数/問題アプリ【無料】](#)

こんなプリントも理解度チェックに使えます。

[喜楽研の 算数補助プリント ~ 6 年~](#)

[解答例](#)

中学生の数学

中学生の数学を保護者が子供に教える時に難しいのは、「なぜその公式を使うの？」と聞かれた時の説明です。私たち親世代のほとんどが「こういう問題を解く時はこの公式を使って解く」と機械的に覚えてきているから、例えばn角形の内角の和は $(n-2) \times 180$ 、となるのは何故？とか分数の割り算はどうして逆数を掛けて計算するの？と聞かれて（説明できる人も勿論たくさんいらっしゃると思いますが）「とにかくそうやってするの！覚えなさい！」と言いたくなりがちです。ですが現地校では「とにかくこうやってすると覚える」という習い方に慣れていない子はそれでは納得してくれません。そういう時は「どうしてそうなのか、一緒に調べてみよう」と一緒にググるのが一番です。ありがたい事に、いろんな数学の天才の方々が分かりやすい説明をたくさんウェブに載せてくれています。サイトの直リンクは載せられないのですが、「イーボード」で検索してみてください、單元ごとの分かりやすい説明が見つかります。このサイトにも分かりやすいチュートリアルビデオがたくさん載っています。

[数スタ | 数学をイチから丁寧に！](#)

中学で習う各単元のワークシートはこちらから。

[チャレンジシート中学校版](#)

練習問題はこちらのサイトから探しましょう。

[中学数学・要点のまとめ](#)

[中学1年数学の解説 | 中学数学の無料学習サイトchu-su-](#)

高校入試問題の良問を厳選したこんな問題集で力試しをしてみるのも良いですね。

[公立高校入試問題集](#)